

貴重な 所蔵品を公開する 常設展示室がオープン

鹿児島大学総合研究博物館は、平成13年4月に国立大学7番目の博物館として設置されました。鹿児島大学には、半世紀以上にわたる教育や研究を通じて、135万点を超える貴重な学術標本や資料が集積されてきました。総合研究博物館では3年間の活動の中で、このような標本や資料の整理、データベース化を進め、その一部を毎年秋に開催する特別展で公開してきました。しかし、標本や資料を常時展示する施設がなく、学内で学芸員資格取得のために開講されている科目「博物館実習」を、学外の博物館や美術館などに依頼せざるを得ないといった事情から、常設展示施設のオープンが待たれていました。

このような背景のもと、永田学長をはじめとする教職員の皆様のご理解やご支援のおかげで、平成16年5月21日に常設展示室を開設することができました。昭和3年に建てられた鹿児島高等農林学校時代の建物をできるだけ当時の雰囲気を残

しながら改装し、1階を歴史と文化、2階を自然というコンセプトで、4つのテーマにわけて展示室を構成しました。

「古代からのおくりもの―鹿大に眠る遺跡―」では、鹿児島大学キャンパスの埋蔵文化財発掘調査で出土した土器などの考古学資料を展示しました。「機器でたどる鹿大の教育研究史」では、鹿児島大学の前身である鹿児島高等農林学校や第七高等学校で使われた機器やノートなどがご覧いただけます。「地球のめぐみ」では、日本の産金量を誇る鹿児島県の金鉱石を中心に、マグマや熱水にかかわる地質学分野の資料を紹介しています。「鹿児島島の海と生命の歴史」では、恐竜の時代以降に南九州から琉球列島にかけて広がった昔の海に生息した生物の化石を展示しています。

常設展示室はどなたでも観覧できます。皆様のご来室をこころよりお待ちしております。



鹿児島高等農林学校で当時の教授が使用した顕微鏡。



1Fには考古学資料と教育研究史資料、2Fには鉱石や化石を展示しています。



総合研究
博物館
常設展示室

部元キャンパスマップ
KORIMOTO CAMPUS MAP

● Information

鹿児島大学総合研究博物館常設展示室
開館時間:午前10時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日:毎週日・月曜日、祝日、年末年始
観覧料:無料
電話:099-285-7259
交通:市バス「農学部前」下車、大学院連合農学研究科の建物の南側

